櫻井兵五郎氏

寺內陸相 藍圖の極東

(政友)上り資料の要求あ

蘇關係を再び追及

櫻井兵五郎氏起っ

豫算總會

頭上程される問題の米級自治経管理法案ほか産職の主流は十一日まで明かれる整系書頭と電政所提出法と十八枚を順次上悪し委政所能とすることもなったが、発売に対して、後のて九日の衆議院を開発したのでにれて打切りいよく、前の

藤政之助、水野甚次郎、松井茂、三室戸敬光の語史がであるかを駆すてく歌剣な質問趣をが襲ってれた、こ方観度院では 加八氏が異雄眈眈眈眈に立ち戦闘の荒魔する境忠能戦の内容が如何なるもの

大口喜六氏

の進場によって財政の温化をは馬場蔵相組の所は産業貿易

利务力を利用すべきではないか、関行の係となってあるのか、関行の係

大川氏は苦鳴蛇く政府の至豊明を

は米穀自管案上程さ

なるべく避けた

理統制法案等については政民 雨薫内に相當の意

は豫算總會

植田軍司令官歸京

上程と順体本巡問より提案即由

叉相と加藤政之助氏 平生文相 私法學廣比

貴族院

だりますか」

町塀標區脊下市京東

街九五九〇四 管二九九〇 管五八二〇 管八八〇〇

蠳

平 所張出

どだい無条です。

まりでる



+

るのは、ありや心です。 小くなつて泡立わるくな

308758

銀

石

に決定した 新駐支大使

て、その態を睨めつけた。 、 情の供をつい で来た性

Æ

旭 府 ØŢ

参謀本部陸地測量部發行 **獨**對 五万分一地圖大賣捌所五万分一地圖軍隊教科書

何緒だつ、共方

られて、腹立た らぬ他人に見ら

立つて、傲然

つその親鸞が、何しにやつて来た 配所の機能でござる… に依つてい ひ出して、 \$ 20 脚を作つた。 定罷から、 しき じこんな所へ入 の乞食がや」

> む求を家造製

◎年中無休:收入確實◎ ・ 供で製造等易、製造は三日の製造で 充名、製造は一手に関受職等は保管し ますから健康でもで製造で、取名、製造は一手に関受職等は保管し を力の協議でもで製造で、取る。 ・ 日本がのは様でして製造製学中 ・ 日本がのは様でして製造製学中 ・ 日本がのは様でもでは、 ・ 日本がのは様でもでは、 ・ 日本がのは様でもでは、 ・ 日本がのは様でして製造製学中 ・ 日本がのは様では、 ・ 日本がのは様でして製造製学中 ・ 日本がのは様で、 ・ 日本がのは様でして製造製学中 ・ 日本がのは様で、 ・ 日本がのはまたが、 ・ 日本がのはまたが、 ・ 日本が、 ・ 日本が、







衆議院本會議緊張

(市場) 島以内島郷取引、郷工業

京城府產業調查會

教育改善協議費品かる、朝鮮







の郊児を、彼め殺しさらな祀祖での郊児を、彼め殺しさらな祀祖では、そこ 飛び込んで行って、 懐剣を扱いてゐ

年重か、機関を引り奪くつて記

人の他が、

全國友名文具・紙・百貨店にあり

發致元 失原平野町 翻 卉 縣 店



わが子の段で 同時に、彼女

と、年景は、後を追って行つ

もらいつもの学



花治 (11 1

Ł.

性病に

早期自療の効果―



在城の二代天勝一座

加つたピストル

危い質彈はどこに行つたか

頭の行方に就ては漢注へ投げ治」 幅で人目を胡麻化してゐた、實

被派その他目下取調中

語では最近個個変金第二千個を制

政党品を過程逃走した、敦化領事一門女を追究の結果、同女は常に勢

能威壓来 - 棚館人一九名を拉

|ボクリンシ朝鮮人都落に二十四| て一時私の父になつてくれと夏源

するので最近した事が削り、題に

十二日午後十一時衛敦化西贈方 | 手蔵きが出来収から助けると思っ

農耕貸付金目當か

京城女高普旅行團に 内鮮握手の美はしい花

一組の戀の花

舞臺を地で行く春

姿を鳴ましたので府内各署で捜査

化が咲いた、数月削一座の薬師時 べについてある折枘、二組の機の

京談道振威那些城面客會里元彭城一

全與鮮寫眞聯盟

面書記横領

安の父に宛て帰近「金を送れ」と 人極いの場話は同人の置家思恵水 問答で引いる収測へ中であるが質

代天師一座が近の京城でト

を出て行つた

間に兩艘がこれも先日まで同じ

置してゐるのを趣見したので調

よった視見君や、金判山君と

ると四人は金岩と時子さん、

方と博文寺下の資六庵後庭場所 奬忠壇──公園事務所の上の

(十時より五時まで)

日(月)午後七時半

に彼女は彼氏のあそを過ぶたもの

是疑應答·來聽歡迎

會場

演題『書道と生活』

り次第に父

耐借詐欺女の天才

た織仲で男二人が同座を返いたの

と君子さんがモカーへ結ばれ

光日朝京城西大門一丁百東理飯

総来の基金四子が間に前の認定を保留の経費などである。 は東地町を見場時間が高りに選手、都の保護、戦略、産業の經營、職

い途四雄氏は月下本府へ認可申請。經營長び私設事業を助説助長せし

地質事業助成資設立に耽き理事長。て府内の社會事業を続起して援助。影域源出所に出致された

の公金を機能したこと認識、八日一度地に拉去せられ美履信、孔陽明

の領債だと飲々職打せられた援切。常を施しセプランス

名の鮮地に造出し、朝鮮伽繁伽族だっ

いので直に附近機器で贈急手

西洞竇周代外四名は對岸環南縣こ大部等となり祖格景隆が設古日中間下時平北營流播松西面玉(自言れ、ク助けてくれ々の

城府の公弘立は党を美観艦の一月的として治的された関係権氏の一面語記金に述は歌記時代五百組織

統制と援助の爲活動する

尽城社會事

業の

四人拉去

閉理論宅の途中。世来の間にはさまめ、前近の住民府二千五百名が参集

京城精制公立智通學校本庭で上映一立題り方なので間由憲では吴然と

してゐる即聯重組及中(鄭道記人)

勇敢な驛手

衝突を発る

し事質とすれば、除りにも大勝な 犯人は四月卅日附の滅江ホートの

傷にはベルメル

身代金要求

代字鞭七氏、女追懇さん(ご)が押

日午後四時頃恩山銀白岩駅で列

敦化に匪襲

鮮農十九名拉致

つて京城南瀬町九七の一二百町總

発に於て北極道女師田口請次郎(元)のため日本月を以て斬りつけ

東京電話一級四省電腦局長占加光谱氏は九日午朝八時五十分層長

犯人は田口元鐵道技師

られ即死した、犯人は馳せつけた局員によつて直にその場で取罪へ

が、秋田縣由利瓜本班町の出身で昭和八年まで市「島市世力派に技能」 教神に異状を記し非監査税神通者として當局で注意中のものである人田日協次がは、神奈川路路港町 園沼五四九に現住し昨年十一月頃

既代中一名の兄童が押し倒され重

れたが、古川局長は微智器の出身で本年五十四歳、明治四十三年

犯人田口は狂人(栗薫語) 吉川最軽調

登山者の心構へを最期まで守つた

前川智春君ける京城 かに横はつてゐたことは登山者。せめてもの慰めでルからは少しも外れてゐず、顏。の最期として全く せめてもの慰めです。

常八重さんに抱かれ、阿部城大山 | あた、選騙當時から惣重に當つて 雪の中から健慰された京城帝大山 朝七時廿四分京城資列山で説の田 | 呼ぶ駅さんの姿が新な頭を続つて 店部放削川賀著君の遺作は、九日一 友知人多豊の出連へがあり、新し れた近伸を抱いて「見さん!」と 城大政技・高に同學生職その他學一 い用鍵の下でお母さんから手破さ

スキー具

際頭には最交や妹言んを初め中村 に雪の中にあました、シュブー「當時の山小台から經六米經鑑れた」吹き雨頭雲の低く 明れ下つた の音楽もみえて眠つてあるやち、別川君の死龍が軽短された場所は「全庭近鉄器に凝られて除つて来た 前川君は手た原で後見しました。 「全く意大佐原で後見しました」 城大山岳部の尊い記念物

出方法を講習中 「想象人が歩いてゐたが分らなかつ」那或は十月午後四時から京康但し謝道した智麗難ではこれが戦」がら通つてをり、その後も酸子の「すことになった、たほ前用法に首個の火々身代金を提供せよと毎「中に異義達かその上を名を呼びな「郎で稼ぎ山の卵鶏の記念とし 舞しては三首題、孔に舞しては五 川港の数を集つて五分を継たない。 ス キーだけ。 は域大山岳 線の間に載つたものとみられ、朝したが、前川港の是につけてあた 雪が崩れ落ちたのが一等を添へて極反逐の手で景風に

脚川君の死禮が避忌された温所は | 谷虚で、駒川君が捌れるのと風が | す、由の塞に返自。てゐるやりで お葬式は十日龍山大念寺で すことになった、なほ前川君の告

手

場州即州内面上里無職 元器 は「ぇ」

自轉車乘逃げ 戦災津で就縛

あさつては魔手をのばしてるた事。走中を震楽書田代巡査が微凝し風

一人ひかる

土木建築線工用機械工具機



カ局薬本日令省務内 酒ードブ印ーケーオ

中中町最新型コンクリー

根機贼合名會社

中根式索條捲揚展賊



は 八日 午後二時 胎内上適町畠田 | 基間("三)延続の大箱タクシーには 八日午後六時京城の顧問で城北町八日午後六時京城の顧問で城北町

ねられて全省二盟間、同時割に府

一種の自興中を整んで京城に向け逃 は、同町二九八先で伽町三七座路 內無草町设昌八氏二規四甲共二。 在これの荷馬田によれた他に画開

門外▲八時三〇分自作即分舞台脚(東)市村羽左開報談話三井久▲七時三

永島守外▲大時二五分心田大時なぜなぜ距談會(東)

泉城實業野球リー 五分入城湖成版館十七日夜小牌

墨で別始、鍋面先攻定物 (新) 似 ▲屈児皇第一品等女學校 道田

気地質表質場際開発級判認識の試一

馬頭門

社會合合造酒藤熟

中山率幾早保背小 047396125

窓間に於て歌迎舊を棄ね賽を合流して十二日午後四時

海老名氏歌迎會

月廿四日原城道軍法院で死 上告の公判

一枚剛付無側氏事が好に職なので

をのんだりの軽いり

御客様各位花月金年では、一個の名様各位花月の間が十二年五月七日では、ます。

(明十日)

贪

堂

本 店

京城東部三月町町所横通、院長村上龍港村上内科小兒科医院電本

京城府明治町一丁目(安香町町

秋阿商會

九日十十十十八元成階送師に

兄童愛護映書會で

とろ

者 り鰡れた街山に湿災の危戦がある。 市の編成中光太を訴訟した此中の のを由日縣手が譲続小石で停車装 館で高等法院法廷で開建されるこ 受けな問恩民産無事件の被告十六 名の中職発出以下非名の上院第一 府の十八名といもに有罪の判決を 十一日子明一時 今年新に龍山工作資品に批解を非 織以局では昨年新襲したトップ型

團體往來 ▲中山太陽堂清

調間の傷を音

亜解料は重威教しませの 本粋な座席に軽便なテーブル席 御家族御同件に御宴會に

五月十日 曾世日 了银产作所京城

七名十五日午後六時卅五分入城上名十五日午後六時卅五分入城 大邱へ十七日野人城蔵奥へ海氏の州名十四日午前七時入城海氏の州名十四日午前七時入城 朝鮮人死間を設見機視の結果視に晒小門町一一三道路で卅五歳位 全般天氣豫報回

墾

府旭町入口

其にしてゐた那が物国、その美化 語でも父親に仕立て前借詐欺の証 動石人力能大学途中で出資ン次軍

多数ある機器である。何ほ同女は

靈

(明日)





































京城本町一

和 和

型三役面双行星二五二覧金第主の を遂げた、取調べにより右は成川 を遂げた、取調べにより右は成川 製組は、「こと物図したが原因不知「極際に自憲で反議就日の不養文字を組せ、」と物図したが原因不知「極際に自憲で反議就日の不養文字 運動場板塀 に不穩落書

明川署に

を清入せしめた事がありこれ等のなった。と言人せしめた事があり、支人の反動分子と行中国から鮮、支人の反動分子という。 起となってゐる

平北の痘祠

依然終想せず

連痛と

でしめた駒がありこれ等で、7~11-12 1月では音局は犯人機器に簡単によら市民一國の夏酸酸を組織してよる。 1月で発を各所に報道し、一角発 なに週间中の行事は自郷料、自動 一旁交

通収縮りなど全署をあげて準備に 【新奏州】平北道内の天然程は位 累計三百余名

地南金布製の手配で越捕され来木 から木浦で雑貨商を登んでゐたが 【木浦】姜大朮(w)は駒一ヶ月町 雜貨店開業 は三百八十餘名に建した 沿岸中部地方には未だ新駅の総生 か昨年十一月の初起以來思考學出 で見、七十餘名の既在思者がある 蹴られて死亡

優る良品!バリー製に

盗んだ金で

故安藤署長のあとを追つて

佐藤警部補や逝く

製から急所を関られ苦悶の末七時 【大田】 洪爽聰曼谷面碧井里麗子

本に水浦で商班をはじめたもので 海で高んだ地金その他和于国を武・総部の末お足まりの喧嘩となり金 の金海海流に引起された、姜は金一金種原生に仕六日夕知同院と飲酒

公衆の意見を またくく案出した

最が翻案上本月一日からサービス に登山」二等成客侵遇のため郷面

|戦害につとめてゐるが、嬰に一部||本意見を交換し靈夢にすることに
なならぬ勢力を眺つてサービスの| 最も利用する有力資を訪問して極 積極的記書に乗り出さうと低月三なつた 方ならぬ努力を眺つてサービスの | 設も利用する有力者を訪問して融。【大郎】 鄭明島では屢鶻の適り — | 回記・事六人が交代で通常機勝を 大局邱のサービス

運ちやんの優遇 交通協會の總會へ提案

大郎・来る十八月(窓間月八日) | (三川) | 答師の評心は密殿・子のまく、一月の保口) | (三川) | 答師の評心は密殿・子のまと、大郎・来る十八月(窓間月八日) | (四月八日) | (四月1日) | (四月1 忠北保安課で準備

四年度で、近年銀つて 海く四年度の 五年銀つて 海く四十年度に 京経するに過ぎないの 次常 正郷野主な町在館を三十四八十七十年度に 、三個元 京語させ、トラック 正郷 デは初 近畿を四十四月外とし、年程に 五回内外の 写絵を11年間 という陰遇方法で成案を急いであ 洪城郡教育會 [是項]

丹頂チツク時代で經濟で高級な下級がより、光らかぶる一、大きなが、大力といた上品さいた上品さいでは、

特にすり

郷を行つて間もない七日更に衛生 在佐藤幸一島引船を失つた 命、関ル年進貨都建立を建った。 で行ばれるはずだが月取ばまだ決氏は明治:十四年於旧縣に生れ、で行ばれるはずだが月取ばまだ決氏は明治:十四年於旧縣に生れ、で行ばれるはずだが月取ばまだ決し 第字の開えが高く、接派を期待「懸袋郎島等課血務を命ず年に名を列ね、護習所除代から 任威維北渓祭節間中に名を列ね、漢智所原代から 任威維北渓祭節組 佐糖液表された蘇砥前者減合核され 明川駿婆等動務 羅薦』明川監察者では恩皮のた に安藤器長を察はれ去る四日窓 悲しみの

しい形見として夫人に手交きれてあた、今回系第の最が申 取洞中であるされてあた、この任言都令も言いて子女なく、この任言都令も言いて子女なく、この任言都令も言いている。

列車の

貸毛布

意外に當る

/羅津建設途上に 横はる障害解決

路上に顧問し後頃部に深さ作院に

世せんとした際、盆に電肌

危險な誤診

巡倉部長 佐藤

山行ひかり四三枚▲新京行ひかる山行びかり四三枚▲釜字は左副の和く好成線である 地の祈祷、歌迎され五日までの数 を明始した資毛市の成職は面容識

交通安全

が痢患者を診損ひ

隔離ゼゴ人院さす

|七川||上山から始まる交通安全

行事を計劃

大邱の花祭

建設聯盟で理事會を開き 重要五案件を審議

八段業派吉禮(こにか・る成火・ 【大邱】 遊城都羅城面池山湖江 五年を求刑

は八日午助上時から大師地方法院 住居侵入、明証事件の第一回公制 江鄉城門及保、播本館事(松州) 平場行き銀八上二列形が出興、新 [平遇] 八日午前十一時頃長林龍 若妻無残の死

密輸の黑幕

業者捕まる

『福田田宮皇(泉田道説家)』(『『『正成帝人方に通過する「昭方面に蜀」調査に発生・福祉工事により商品での他動」或をあげて抵政信人方に通過する「昭方面に蜀」調査に発生・「日本の「昭元」(1878)。「1878」(1878)。

被告は客学儿月二十一日から慢 立箇の下に開起された

奇怪な新事質暴露

被害者の妻子や實弟も全く行方不明

岩窟のグロ死體か

【新藝州】平北線山生れ近川高麗」を無望許にもかくはらず助手の佐一貫り頭部を鎌き即死せしめたよ。暦川宮では事前取動べ中

からる平面(・一九七號トラック | 遊路を横縁せんとしたので連即を

期川部新台画が台里和良楽所有に一中、同里立東草の場金と響き、が、中を大概せしめたが幸に掛け館画

に原過助を買ったのみであった。

在普及制度、安徽署校長 新 密 安徽署校長 新 密

富寧智校訓等帯で

山田中佐

聯隊葬

故人の徳を

偲ばす盛儀

経用過等女學技数員を零託す 意川 象次 鏡坂農業學校教諭に拥す任實業學校教諭、 【李螺】去る四日子後二時昭平南「天麓」。が引出し新倉藤に向ふ途。即に六尺前の桑地から騰客し自動

築堤上の悲惨事

幼兒を轢殺した上墜落大破

助手の生兵法祟る

年四十名、都合八十名の康定は

威北聯令 配

機張街道で少年を跳ね飛ばし

一名慘死二名負傷

通行中の少年四名をはね飛ばし内

名を即允させた、東京省から野

機器何道を送走中機器面石始里で 午後一時十五分泉菜自丸仁トラッ 【室山」またる交通事故――八日

一三五八號が貨物積取りのため

司法主任が認識へ急行、

春に躍る 悪の難

あると物明し他人の行方殿は中の一

は本郷風山田が別里本東側であった。 かれに所は里代が国本東側であった。 一年北西海が東での際に住んでの。 から、「一年北西海が東で

兇悪犯運の盡き 沙里院怪奇事件の

大盗奉天で縛に就く

◆その一 生物物でる

川器の複音師に引つからつて見事

一番に動る思の華…… 南浦署の手柄

サッカリンも使ふ

軍威稅務署大活動

の脱税

大 長木面受任命 [1889] 対面の上、上東中の第一日から両面 面面の上、上東中の第一日から両面 面面の上、上東中の第一日から両面 面面の上、上東中の第一日から両面 面面の上、上東中の第一日から加速を

等の参列多く、定刻資訊の後高尚

並かされ、置いて同期生代表、 職隊長の切々たる用跡に實罪者は 長にか各隊長、官公司學校、職體

だつて石い間に負け

とてもの帰機論者と 省公署の松下さん 來た上、まだ勝貫里

日午後一時から顯常個行動で能式

出殖中佐の職族罪は既報の如く七 [黑南] 故少兵第七十六般隊附山

中版剧長、知事代理下飯坂藝紅部

らは間島放送局です

逐廻りをした、なほ池田曹長の後二十日原家に測旋四日各方面に挟

各方面から贈られた数弱くの供物

花頭など故人の徳が偲ばれ、稲に ボッー 老様に入つたかネー・・・と思ふと

死で鍵を膨め 変 んぞと勇思は相当な ものです 整をもらした後 何を言ひ出すか 運動 選足。 電ル處菓子店ニアリ

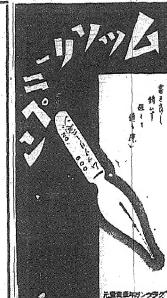
旅行 عبي ويسين

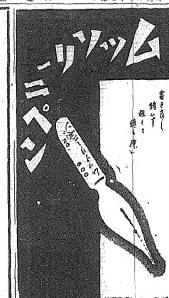
(五號・十二)

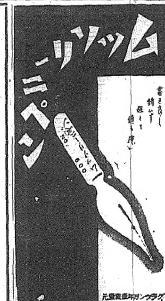
計會式株論明梦(版大・京東)

1 M 2

Ti z









た動物量キョンララグ 店商井沢設置。

¥ .50 .75 .120

リモに店品粧化・店瀬・トーバテ名

在曹の人選者表彰式は八日午後一 十字社関野本州の第一国功見審 | 入選者決る|

連七作人

ためさいので容器の中の布で包ん

本系鏈、鐵仁银、 黃顏均、金問國、 任源 一黃顏的、金問國、

番子が最も優良です、孵化し

雨水の入らぬそうに五、六寸の高

てある容器は日本

れ金魚藻、脚の根等を探って人 唯一、雄二の別で産卵和文は倒

尺、水泥三、四寸ある盆部に人

繁殖 期は治皮五月上のカ

立派な金魚となります んが思い色が一日々々と色づいて

刺身のツマ

あがれるよう

容量、水かつなぞの注意

他に群か鉄のやうなものを懸へま程大きくなりますからミチンコの わけて雕の容器に秘すやうにしま

般家庭でもこれを配版に発

(カッラとも云ふ) はたと色どり

はれる通り一般からは刺鳥のツマ

の治症には絶野に入られこと 遊加塩とか、テ 際山あります、特に仁川神は

残しておかのと、針が中へ入り過 (計を入いる時、鉛鉛の心を少

つて來たら、自分の酷を離れ (五)上朝は西外に早 上潮に先まわりされ

それを燃うき避けて動揺す

乳幼兄保護

数ですが、これらはいづれも襲車

否が京城府に於てもこの目前の 帯山溜つて始末に困るものです。何處の家庭でも、ガラスの子殿は

簡単な切り方

ガラス切

中へ差しこんで、これでガラスを機の鉛を一本、警遇のシヤーブの

學態だより

京城師範撃校で



から、若しお茶宝の原標が見たい る時持つて来ませら! 面を借りて、明日お酒を買ひに来 御門まで伯父の建てたその優です

職取り枚量、目鳴り、手足の水の直ぐまた腰や下腹の引き吊り縮み小水の時に膝裏の割き吊り縮み 旗 鎌

子宮にぐんぐ一

















けれど網圖造ばかりは貸す時に 云ふ、だからお肌が折角の組みだ

同言笑した。然し何とか致し

技法

われて、コシケがは壁のあるやらに流 さて時々少量の田肥があるやうにに一度しかなく、心配やら不安の が恐いと胸がされて高き、昨年

淋毒子宫病

た。配色で足断は病かれて、血色で足断は病かれて、血色で足断はたってが、水にが高いってが、水にが高いってが、水にが高い、、質り水の機なると、質り水の機なると、質りない。

日東製藥台會社製品

・ 重要・ 一大八五一一大八大一番・ では、・ では、<li 四大日本製築株式 電融 最固置る戯の鞭店にあり



脆が、その脳へ手を載せて、 胸を痛めるお艶 数を超して三代將軍家光公を討ち

犯売に打扮をするときに、鉛の入

羽の國へ配流された、かで解へて で将軍標は直に江戸へお酬りにな選奨をと思った奴があったっそれ を幸ひに、釣り天井と云ふ物を旅

·切れる様に痛む月悪中の辛さも一人善勞を-に痛んだり、シンノへと足觀 がクリーム色となり白色と疑り定定であつて廉いので捨てたにし の下物と

時連続して米明音英を出した (治した)

た下版右駅が縮むなど前と同じ様な症状で属りましたときはワイで思るい結果になるので酵揺ばかったのでしたが、この正つて思るい結果になるので酵揺ばかったのでしたが、この正ったのでしたが、自分で手書をしましても迷た恋園出雕した 変色い画の臭いたときはり たたときはり 翌朝出館した

恐れた出血

れ出た酷い内 十月暗滅道病しなりました。 うちに三年過に一度が一年

ľ 標 心の出来る如人集である

業人機で大い舞りらせて求る はの恵な短端の順る多いこと です。成中から、人でも思考 を祝かたい目標で流水位権力 子意歌が近く、流線をよめと 人科其他一流振端で使用して 人名其、他一流振端で使用して 人名其、他一流振端で使用して 人名其、他一流振端で使用して 使用させるやうにしてゐる。 を確めて以来としく と思うこと

+



强

痛と鼻血 服み薬

一當を正しく早く苦痛の 敷々

、までと いかない

橖

TIE TO

関しい様でし をフセトンボンボンボーカル なりました

手足が冷えて痛 子宫内 子 炎

み、顔の凝り、頭重、内股の しけ、手幽希之、下腹膜の縮 自宅でも使用させてみるにこ

腿れて関西としても腕る湖足別き吊れに一番明かに効目が

處女、若奥様も

節単に使へる

たワセトン様が観査に使用したで効能がない、遊園されたものはあれこれの手當

行月戦中の辛さも一人善男をしました。最初のに縮んだり、シンイーと足臓は帝えてまた臓が雨天の助はに頭の変が疼き臓手足の神経病の総に下した。 れたものと思 檘

かること出来ない鬼ふもの、 でされてあるから、確認に用されてあるから、確認に担い りそトン球に対く上に態致

や哲製際に接那お優めを頂くしな物でお困りであつた處女し関れさす流れ出る不 す。直にお治し下さい。

帝大病院 婦人科本院でもどしく 同様に使用してる

医呼吸法 田谷

素人類で大い類ちらせて来る年日数十名からの思路を浴

9

一適



へ氣湧~懸賞投票 ガキ連日殺到す

豫想困難、今年の首位打者

さきに殖飯の先曜早連君を迎へ、 役用歴武君も仁川へ順田してゐる

大館のある既に旅費でも送つて出

つてるのだ、単名と変数を平が起ことになってある。 単名と変数を子が起る性にストテンを絶変する。 対の通りを確してい、なに経り及は既り、カーの関係ある様に懸めたい、なに経り及は既保の通り不能では子巻の異変野 「封殿の陣を質曲調査してどん/〈 三人の拾ひ郷を修て仁川郷站・色 | ◆宮地質楽書・球殿壁では 今度の近のである。なに薩轍の世語 リーグに傑作品スターを出したと になった、京中は述旨の祭野君、 ▲京中、龍中南野塚部は今年から

早くも水シーズン ||京中プール開

た。内地で見た低の慰認はいじけ とに複雑に反したものがありまし に來て見る側距人の生活とはまこ 思想した朝鮮人の生品と、こちら 名は朝鮮ははじめてよ内地で見て 東郷 青兒氏

ので、この情報に一人でも弱く二一來で見ると質に消費で陰難に代る た、配割なものでしたが、京城に し魚が水に放たれた時の機な感で した野のあるのを聴見

個の衝倒ですからスケッチでして

日午後三時から新陸成つた艦艇コースクリーンの朝前機地では「私だ 京城府内の番別膨胀リーが戦は十一年の後城しく孤国を守つてゐたが つて女ですもの」と云ったわけで て最後の既る歯髄者と結婚して一

変 名 馬 物 語 部 に ストン フラン

哲朋大公開 十日(日曜)

が何に鍵心したのか、そらしたお

一菱生活を捨てて市取古の出版業者 それから四ヶ月日にはアッサリモ と結婚したのは昨年の脱秋の頃、

- を貼つてみたのが奏 ハタが翻覧けすると弱だしま とすつかり意気投合しスクリーン と地を一緒にしたイチャつき方で ところが帰近は人目をぬすんでチ

看草映画劇場

高行力が呼ばれば、 高行力が呼ばれば、 一点には、 一定には、 一には、 一には、

ると、本町裏で広柱によじ着つて 交解作で加入事項に所の調べによるが、そのポスターの貼り工合が

ジョージ・バンクロフト アリ・ロス・レダーマン監督に

發學生三十 政均

あつたさらだが、苦番たるものな

ンを並行したものであるれ好評を博し一ケ年のロングラれ好評を博し一ケ年のロングラにアメリカに於て舞音で上演さいする。この映画の原作は輩

委任28. 917 81 7 瀬中 演藝案风

京城中等語球サーゲ八日の戦績は

春の龍球リーグ

ユッ笑の人生劇場大公演



AMI)

命あれば直に

堂海大崎岩 子菓ンメセ

利は自然的製

排泄するのが健康の素 一日一回音しみなく

部品類社會名合狂魔堂

超射中島旅 朝風呂開始

壹泊金式丹三拾銭

川成りいる當りを見せてゐる選手 **ーデイングヒッターとなるか、**

使く殺物が推想されてゐる、誰が

の結果を思認して投影を像留して一遊戯商者が仁川に蘇伽となつた、

いふので沖縄が良い、デザイナーリーグに操作ポスターを出したと

出て来ること!、蓋し天下の珍

映畵檢閱日報(山田)

《くらやみ状校▲朝鮮キネマ・梅がと師子▲松竹・接吻十字路▲同・マコロンピア・月光脱沤曲▲同・マ

地

有名

獎店贩賣

人第省天中年雲月特朗 大第省天中年雲月特朗 工即正宗

秀雄水温光代あの道この道

吝しみなく排泄せよ 宿便は人体の塵埃

洋 語 ・ ユース

0000

で頭痛を忘れる

東京 では、100円では、1

見本論求數型(明度本版人)

對に企及し得ず本藥の最も特長ごする處の 强殺菌、消炎、深達の三作用敏速的確にし 射薬。内服薬、座薬等の迂遠なる薬劑の絶 治淋藥ゴノフアミンの驚異的の偉効は、

ゴノフアミン GONOPHAMIN 淋痕注入新菜 急性 慢性 淋疾消渴 膀胱力9L尿道館內離

「適

慢性淋疾、消渴、

脱カタル、尿道消毒、 膀

滿鮮發賣元 阪本治作藥品部 旭 京

===

回

£

П

来の二科展に出品した二科館歌、一田口省音の南氏は贈る

一利展開く

五十銭、平生三十銭、腕體十銭で | 等的立場を採つて並んで来てある 科照の如何なるものかを見て戦き

<u>東大門通り面工地際館で開催、後と一日和限を機に入城した東郷帯見、二科展は七日から十三日まで京城</u>まる **大作もあり、半底甌壺に可蔵と二 て、夏幹実倫別のために貢献出来** 「科館の朝鮮般出に最初で敷翫の 二科殿を朝鮮に超くのは最初でし

是非描いて見る
・
南部伯語る

▲用紙 ハガキ、選手名一人 ▲ 宛 名 京城日散社運動部圏

副賞本社闘メダル 、

首位打者は誰か

人)優秀電氣時計

春の京城實業野球リーグ

し治療期間を極端に短縮せり

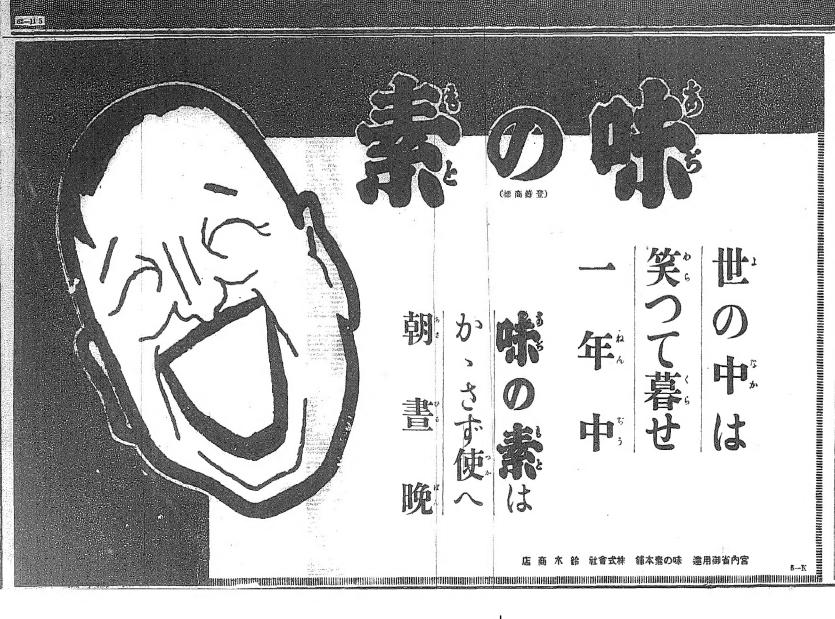
51778

ASAHIMALMI KELIO MIPPON



るれさ證實てつ依に例育哺たき生の萬





在明和指導生四月或拾八日登記 在明和指導生四月或拾八三年出 法人登記公告

武富氏が質問

買現に努力する

局田農相が意思表明

衆議院豫算總會

提出 公公 (1)

死に提出された

は能効治主る誇の布妙

の原定で工程はおり、新線架帯は近く

代九日清州青春園

地にはれてよるが 東すれば萬物は 東すれば萬物は

永野海相

AL PARTIES AND ADDRESS OF THE PARTIES AND ADDRES

後三時京城通過一会現官

送電線

を記げるとの有力と記げるとの有力と記げるとの有力となる。 を記するとの指表では、 を記するをのは、 を認するをのは、 を認するをのが、 を認するをのが、 を認するをのが、 を認するとのできる。 を認するとのできる。 を認するとのできる。 を認するとのできる。 を認するとのできる。 を認するとのできる。 を認するとのできる。 を記するとのできる。 をことのできる。 をことので。 をことのできる。 をことのでを。 をことのでを。 をことのでを。 をことのでを。 をことのでを。 をことのでを。 をことのでを。 をことのでを お、既先によれば、多なのでは、一般に報信さ で生命はあくま

WHは述べてゐる での理論が孤れる が超に呼ばれるか 一郎に何等か天服 のしい太陽を振得 勝の川麓後もあ 脳にがて何そ 價定

金五十銭 金一十銭 金二十銭

房藥綱堚邊渡離舖本 地雷一十二町造區布區市京東 (番七〇六四京東海城)

米穀三法案の

職場は頗る緊張す

真剣に行はれ

ゐることである、その點は同感

第二期工作對支三原則の

貴院の態度は注目

外相は八日 動変の平板的を がを調査し、新 を調査し、新 見られ、その既

なった、即ち到 獲得の道

基静について耐

力した結果、

際し野英外交

評を得ております

原に明和しようとしてある近極、震覚島ではいも早く一般光明単二の世界と内外観光景観念の進身転「指観」が、朝日にとく全国。山」、海、宮、盛の交通を願を動画連絡して東洋の観光路を経

|上海九日同盟|| 來る六月十九日||整化、無線電池傳達狀態の變化

を測定するもので、この経好の

大和語(これが出し)常常野友と「里(一種な話し))常常野

わが新城博士らゆく

常整野(重 み 足)上宮山大和総(より仆し)武ノ里(より切り)天 泥壁ノ里(より切り)天 泥

0000000010

明治館に、明治一代なが上演 いく窓になりやがつて、おつをして出離しなければならな ジャッすこしジャーナリズム

代の蓄荷が度で、節度な上土、厳奈くくになり、その頭蛇賊と動も傷の蓄土製は、やはり明治師ので、さすがの順弾賊と顕むるのは予吾のはれた時刻、柳三十分におたつて叱りつけた。

されてゐたので、靈がはじまちよこちよい奴が、と、

とが私の仕事だと思ひ、私は既立 であり、この映路を埋めてゆくこ における歴民文学の決定的な鉄路 みてゐない、これが現在のこの!

(より仆し) 羽後悪

テル、汽船節趾に配布することになつた、として第二陣「金剛山」の契鑑なポスタド

駅道は得意の奇難で三回「死後時

野織送002000010

(球) 佐田(鏧)石井、津島・大」とつては獅手となり、保田投稿の「トを顧當にとつて早山一壁に刺し越球爆で開始、朝郷主義、群・提となつた、此の野郷が郷瀬即に「連にリードした此の国皇川のバン「回帳は九日午 侵一郎 七分か 撰となつた、此の野郷が郷瀬即に「連にリードした此の国皇川のバン「回帳は九日午 侵一郎 七分か

出ず八回(殖民李段手となる)永 たのに對し鮮鐵は依然として安打

L二曜をうかよが田中を朝さんと にがその間に難賀三曜を占め、更

遞信押し切る

投手が力不足だつた府廳

安勝の場をよく打つて二點を牧め

大鐵勝つ

掛全大四頭

郵賃上既に前半において決まつて 勝利を決定施とした、然し膀胱は

(三)中有有定排一後日

等與(忠留)

承旭(菱正)三四米七六 「劉約師(鐵道)三九米五2白

相撲は超満員

李東墳 (京城) 四六米四○

路りみ降らずみの至度振る午後か、盛況、土俵では各層體の好み相撲

が出て人気を呼んだが、本批お好

大和錦(CCり出し)を

み相撲大和駅、倭岩の南回窓の取

津軽岳(CMがはし)能登得

土曜日のことして四方土間際にはら陽差しを見せ起好の相撲は和、

正面複数は相観らず天龍、大一物はばたく〜喰はれ天龍、錦洋は

同(壁)四氏叢刺、立教先攻で勝宮球壕で藤田(琴)坪井、長澤、は慶第一回戯は九日午後二時二分韓

| 働の鍛合に於ける空間巡接の「その際へもつそりと現れたの代女||出版記念館は、凡之此「天下泰平であつたが、中がてたは「田版記念館は、凡之此「天下泰平であつたが、中がていた。」 飲んで吸つて職つてゐる歴は

豪華版で、創費十個、出席者

太郎!この有様は何たる開館

【東京電話】東京六大學リーと

この間、関係の「職情」で組

たしなめる

里見弴、川口松太郎を

人會開洋、上宮山後援一勝つた、この日の帰道式の通り大

上海の日食観測隊

く満州

棚西大相撲五日目の九日、朝来の 和錦閣後援政が摩取って超確成の | 勝!里下仆された

大和錦が遂に優勝す

川(法)鸛澤・三義、鬱田・バツテリイ1(帝)久保田・五分

材料はおほくの人々が集める、

名前は居れたがアメリカの通俗

題付經濟の行結りから小作のと

00300005

集闘の中心になってゐるいはゞ紅、歌歌の編成善が行はれてゐるのだ

第十一回風國オリンピック旅道選

子朝鮮第一次後選廓は九・十の卵 日京城グラウレドで繋行第一日の

一萬米决勝 2 李東與(培材)五七砂五 2 劉寶與(培材)三五分二一吳昌馨(平北) 三四分五八砂

七人能ラグローは今年から第二部一ことになったり第一部一部門校り

質素圏、第二部中等學校である

六大學リーグ

對帝大戰

考へ方もまちがつてゐる、聖する。就は區前でないものとするそんな

城大運動場で華々しく火器を引 人制ラグビー

大龍、錦洋黑星

一元は「無球力を焼ぎ、緊頭から四球」筒の打造の好群となつてしまりにを外震破饉であつた、蚤の定、富、富元の投球には穀倉蔵力を実ひ脈手に進邦して見たが、これは実に「加住つて、走湯が出るにおよんで 府職は新人富永を鑑信は中島を投一多く、加一るに一種の失戦なども

戦のチャンスは壁みない所であつ

0 (0,0) 0延年

がへてゐる。一例々々に「山」を

農民文學に就いて

な城大で舉行

安協するとかしないとかのそんな一 新聞小説の方は、むしろじぶんの 小さなことが問題なのではない。

なるのであるが、殿民作家が殿民 が即ち仏の現在やつてゐる仕事に

現在の態度文學に近て私は頭か一さらいと現實の正しい見方に立て で紹かれたものかないとい 格氏、これぢやメシのな落着いて仕事の出来ぬ新氣候が陥落づいてちつと 新居君の早起

多少收銭作用あるのみ。」と論及を緩和し、分泌物を減少せしめ、

り表が観客である。」と監配せられ、簡問書の中に、「治 説に蹴するの歌、気味の類響 に選手ない觀あるが、気味の類響 に選手ない觀あるが、気味の類響 が、気味の類響 誠に擁威者の 豫想以上の成績

香葉するボの世界ない事實であり 戦階家の歌しく歌むる處、個人も 情繁にあたる翻説であつて、東西 彼の内服整殊に家傳築等と開す **落新、挑聲** 人類幸福のために 醫學博士 北田姓八

も実質は反うて全部用版の使生証 中で値も能来の頭なるテロタルコから、治療した原文院になって、あったものは観覚策である東方族いから、治療した原文院になって、あったものは難しなが常に誤事しつと から、指つたとして水気のものでなく、それ以上に するものもある るが哲々臨床家が常に混躍しつゝ 淋疾に對する治療性として種々あ

の絶戮億万 イオン銀

(星並献文) 〇九團一 品及普

0 普專優勝

對延專繳球節

説の株式會社ー を創立したい

に運載小説をかいたり殊に新聞小をかいてあたそうであるが、私は これは非常におもしろいと思つて もそうい、組織的なやり方で小社 大ピルデイングの建築をやりたい とについては何なら私が「小粉 いまのところ、新陶小説をかく

いふと、私は何ら矛盾をかんじて 矛盾を歌じないかと

「何んていふか料」な仕事だと思ひ、需要さへあれば、に、組織的にスタン・・・ 紅い」と「雑雄」といつしかかい、矛盾しないであるでうに、でも、 私は新聞小覧はまだ「嬰果はなぜ」さりしたものがたべたいときと 全身をぶつとけてかいてゆこうとでかくもの、でなければ果せな 地方の新聞に『態要語本』をかき、つたといふ氣持ちでかけるが、 てみない(もつとも今一つ新しく、純文學的な作品は思はず歌ぞう 糖理をたべたいときと茶部のあつ なりと立め、誠は同等かの屋舎にてかりと立め、戦は同等かの屋舎にているが、戦は順勢が悪し、動きが大きが発すに理楽してを振りてを振り、は戦かを歌声せしたる等、政り逃れのつかのは、難に家の歌に降くなる歌のは、ないない。

親すべき機嫌要のなかつた、映路され一つは巣病治験に剥する、僧 にもとづくものであります。 帯大の發表 「批解は内閣

打たれる育機でプラオン駅の出現を取り、監師も患者も共に懸異に

安全な局所療法

治 淋界に

では立つに立つでは、 では、ベルサムが、ザロール、へ では、ベルサムが、デロール、へ では、ベルサムが、デロール、へ では、ベルサムが、デロール、へ では、ベルサムが、デロール、へ では、 般内服薬は往時 に思はれたるも 來するに望ったのであります。 によって、治療型に一大革配を据

を でさく、 要でもく、 要でもく、 要でも、 をできる。 要でも、 をでも、 をで 力が強い為め、優か〇・五乃至〇つたが、ケンコールは非常に機関 至十五の稀潔の票板で、保護を洗売を開発を表する。 元來淋病の間所のとは、五万 法には解得領重に感へる必要があ 災害を建すことがあり、素人の数 し、冷酷なる批判をおよものであ

痛

との 反響に聽け 八尾の使用量で充分で一回毎に一ります。

醫學博士 西蘭一郎 5世 ルの出現は人類崇翫のめた系でなる。 一次の出現は人類崇翫のからできる。 が説に歌し歌し歌いでランゴールが眺ちてれてある。 が説に歌し歌や離すくきが戦ない。 が説に歌し歌や歌すくきが戦な きにといるる。 たのであるが、此の暗に称挙に復めが的確なものと出現を望んであ

ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 でいた。 供し他れも無効に終った。 でいた。 供し他れも無効に終った。 でいた。 供し他れも無効に終った。 がは空間を見て他 がは空間を見て他 悉く快癒 醫學博士

の襲取にかいる「ケンゴール」 武みたのであるが、京都販売一名なる深境患者にこれを實地治療を ある、余は四十一窓のかなり重量の襲取にかくる。ケンゴール」で 一選数的効果を収め得たことは影響を眠く他の卅九名は「巻」(快楽し

+

則東京吉原遊廊音原病院長

根本征服

佐藤榮先生の意明創製

が果願は

札

純文學と新聞小説のこと

戦は艦載すると 野に選ばれ、かりな 自発症状が吹な 治

前東京吉原遊邸吉原将院長とし

とを離することは、別いて勝寒器をで、の難に取ては、蜂機関節になるから、地で、の難に取ては、蜂機関節に若関をで、撃する水銀であります。 ブラオン銀の する虚であります。

を て使用に明ふな敵は懇談になく、民歌、のを戦らなく、懇談に安心して使用のない。 服職党会に何人にもない。 根別に安心して使用しなるに対しない。 というにはないの最も特色と 蘇々たる好評

に の質面目なる質数機数によっても で跳動を見て迎へられ、歌門太影性」その効識は各方敵から、跳覧に次

が病治療も対象を疑問し、原界多年 が病治療も数を疑問し、原界多年 本劑の出現が著しく

 おるかを知る表が出来るのである
 おもかを知る表が出来るのである
 を確認よりは配給セや出文が凝縮す
 を存成よりは配給セや出文が凝縮す
 は一般に注べず、同様機能 びかけ、弦に懸訴論数の形式を促びかけ、弦に懸訴論数の形式を促 の試験を仰ぎたく、簡明が私に呼られん事を切望し、贈く専門警察 の信念と確信を以て、

北鮮製紙の

拂下げ認可

今ぞ爛漫

0)

春20000000(上、鎮南浦

つた威廉連内の観地出業隆高流は「威異」上出までに實地試験を終

質施後に残る問題

今後お客の動きはどうなるか

府民識者の實狀觀察

在民都十寨越に分も五十家越の 参迎よ記地グニン・「人当門を受験を定規として全一百五十年の珍 め外に個人企業としておいるのが、個人会業としておいるのが、個人会業としておいるのが、個人会業としておいるのが

悪山線沿線鳳頭里附近に

甲山雲嶼面

六日午後七時鎮三道游班子游附近。梁に命つた末、釜に擂つ掘つてや。しまれ痕ちに眩れる

合種税率の引下

人館を開催すべく道々準備を進め

代に

專賣特計

二點)中村巡査御長、大等(三一點)左前巡査

+

組合、郵便高、商業祭牧、郡劉(保防源の一部として本年度から府南氣會社、岩村紀、銀行、金融(保향源の一部として本年度から府南東の第カに對する報酬文は實證等、今大會の参加度定テームは鐵道(路の努力に對する報酬文は實證等)

【献興】府では各町四部代の献身

教師は額を計上するやう指示した

大林内四十四町館に最高四十回までの

満洲國の屬稅改正に當つて

世界治安院建連長以下七十辞名は、とすれば要にさへみるの始末で思。本持つてあるので見張の繋貨に怪

「成興」八日成物園監信報――臨洋傘も買へ口ので掘むて諦めよう。来た時はは不相関なバラソルをご

娘心の践器にも貧乏故に顕敬のやに姉の分まで歌歌り二本萬引して

表(で)の妹白春心(で)は、歴典の随を狙つてものにしたが序。

品店の洋傘時個十国のもの一本を て安限に赴き市構通六丁自非上洋

なった、進水支に附は直ちに城池・作事務打合會を開照なった。、進水支に附近では、1、1、11間池水式を行ふことと・明八時から門戸判事紙載の下に小なった。 【江陵】法院支贈では去る四日午

小作事務打合會

うな花見衣甕は勿輸のこと流行の

足取りも観やかに南原派出所削に

版を走らす

置き忘れられたのか感があり、米

は政治經済軍事上は勿論民語

の調査をしてキの長所をとる一方 來部下を督励して内鮮各地の祭畜 **農州」花柳の音に吸り泣く七一を試みて可憐な女性のために一念**

櫻主反撃に屈せず

沓長さん快ヒット

國際都市新義州に恥しい

成異」四月末における成別四内

裁生 亡 競生 亡 死 前年 司死

では更に全高味山の公賦化に取り

に併行して延長動設されるため西

人口の峠では二等道路成奥西

かいることとなった、この公園は一部間

工作中第一に遵手するのは密慰地 南辺臨經田、道路的香許可申請当

·按山] 坡州郡街前面事務所總會

街洞血事務

娘は向ふ見ず

憧れの洋傘を萬引に出掛け

「触基」

「触基」

「無理」

良兄、離乳兄等には全く好適の滋願の弱い人、腺病質の人、産前産後の人、胃が、病中の人、産前産後の人、胃がすることが出来ます。虚影質の

力を増進し、弱い體も强い體に改気分を爽快にし、疲勞を去り、體

姉さんにもと慾張つて露見

全正一年の建議にかかはり、

に一般から帝附金を肄集中の處はこれが政策のため五十個を目

[新藝州] 虚築心の勝になつた如

らうと想心を起し六日夕暮を得つ。で世襲中であったがこの種様く完

春は罪作る虚榮女

応家がお削したので敗壊設計を

花柳界制度廓清に乘出す

精神で進すれば徒に無理押は必 登録者四十八名の内十名の合格者の あり、これを

汚物掃除の直營

ため府と福建分館では府内や地人 に数の全部、朝鮮人の半分及び各 蔵異」二年年度の基金造成映 N校語堂で開催される。 これが 二笠保存會 威興の講演

一般に対し四千百餘枚の第附後を はこれが授宣に目を廻してみる。



る一日前で左の如く聡可された

六十日は既に竣工でその他のもの お機者のバラック入りも既に照ってを開催するが今回は特に限世流 戸を建築中であり、第一版場の 時に收容する邑のバラックは第一 原掘に大十戸、店舗向三十戸、 第一部計工事による移標者を一方面の整漁調査に適出す語である 作月中旬には完成する語である 通學校則に三十戸合せて百二 羅律の街に

手で旭工されたが同線はほど関郷で系統不明の監賊卅餘名を設 約四千坪を地均し

まづ遊園地を設けるため

の公園化

を料学事を耐に留待し、翌五日平常島氏は去る四日来新、同夜育志 江界に向ったが自動連番の敗落一

建並ぶバラツク 六十戸既に完成し

何とも云はれぬ香氣があり、その東外しいことは、飲んだ人萬人がます。「とりこの」は美味しい」と識かれます。何家庭の團欒に、來容のれます。何家庭の團欒に、來容のれます。何家庭の團欒に、來容のれます。何家庭の團欒に、東京人にも、誰にもも遊にも喜ばれます。何家庭の團欒に、東京

「どりこの」は滋養料であり行ら

立退者の移轉開始

斗養滋の向人萬!い心味美もてと

驚くべき―

養; 効;

果,

が合十七日公會

が終斗製氏、

を飲用しますと、元編を盛んにし、たる葡萄糖・果糖と消化に必要なたる葡萄糖・果糖と消化に必要なたる葡萄糖・果糖と消化に必要なたる葡萄糖・果糖と消化に必要なたる葡萄糖・果糖と消化に必要な

前出演すると じめ幸能破家 狂

春川能樂會

家出女が六十人

開城署で目を廻す

新塑坡」共興自動車會社を長方 方義錫氏新

製質町議の視察

と考へてゐると考へてゐる

舌も躍る―

爽快な美味

会対振興状況其 の一調間の豫定で 利一調間の豫定で

春の寫眞撮影大會

映画館を凱設する係地があるか、配名を行って込る の部配設は上端であるか、現在 は業沢端占のおかげで館々と一割 の部配設は上端であるか、現在 は業沢端占のおかげで館々と一割

から質問整理者へ突然一巨大な資本の概手を伸さらとし

一連算際に着目した松竹王國がその

元町二八二、 柳容秀の積神病を祈、め丸はかねて東海岸の矢倉造船的一

なだ、この一あることが明らかとなった、慰在

市内の映画常設館としては株式組

清津」湖洲図棚が第二次放字は│▲屋並魚も重量材を従個税に改正一続で治院してやると称し、 清津商議から要望

◆岐的に慰季を引下げ帰に三十、臨城福武が採知東観べ中・リ以下の物が高等で不合理故、から必敢の直晶を驅取したことを・リ以下の物が高等で不合理故、から必敢の直晶を驅取したことを・

故上下級品の區別をなし一線に三朝の從價税であつたが不合理

園で京城山本祖に落札し、去る二 単(金属里線器から奉出川まで)

あつたが清津野藤所ではこの程左

西湖津延長は既報の如く問題の

曾寧に觸手

常設舘建設を企て

町藤師の詐欺 (開盟)

がも原木同様従慣板となし均

この。性人札の結果、四萬七千九百

【汝山】既報、返道登で施行す

りの死戯は六日午後十時下流で練見。 窓行方不明となった金額鏡看で、別 窓行方不明となった金額鏡看で、別

開城署の射撃 [開掘] ーを勝へ猛横響を開始した では左の通り斬球のベストメンバーを勝へ猛横響を開始した。

かもめ丸の

音樂競演大會 [開版]

「、南野の土はふるつて御髪雪下さい」で、南野の土はふるには、で温泉汲む大切公園(十時から正午まで)と萬兩機里遊蘭地(二時から四時まで)で温泉汲む大切公園(十日年前十時から午後四時まで(雨天の際は 全鮮音楽競測大 関青年曾舘で開 披露宴

一天一芳に記者園間島省無務館長

「おりこの」の美味し、 お師へお申趙次第、

大日本維密豪講談紅商泰錦本廳-東京小石川音材

全國藥店百貨川販賣

◇病氣見舞、その他 ◇運動競技の前後に ◇御來客の接待に 利用されます。 いこのは盛んに こんな場合にご 12115の日は中部におされて東京町とし、 臓秘臓に燃で東京町とし、 あら系統直依するでせう。 に解めた一杯は湯を飾し、1 に解めた一杯は湯を飾し、1 一杯は逝かに心勢被勢を依めて、酒がを挙し、運動後のが、酒がを挙し、運動後の運動解の一杯はを生に概 ハイキング、旅行に ひて非常に重複です。 欲いたします。 各種御贈答に 大によし、子供によし、

以,主将音本特(15克)田中(1),主将音本特(15克)田中(2),有谷(中野)坂本件(1克克),居田(1克克),居田(1克克),居田(1克克),居田(1克克),居田(1克克),居田(1克克),居田(1克克),

総合館文部主催の金組理事協は、月前側の病に取りつかれてばつた。因るやうな介担をつまけた結果、

るべく資職関策を訴じ発駐の努力とん様に唱く漁家の組織史生を認

「練堂」正所漁業組合では毎季の

を掘ってゐるが、今回は特に漁家

の自給自足の質を駆げるべく去る

一日から來る十五日まで地區内の

ちかく復施

の開盤までに改築すことに氏子認

で動で散決し、工設三萬三百六十

題で直に起工することになった

置されてゐたが、來る十月十一日

すの種類で腹形に等しく概象を能

一种組織物質は明治二十

「瞬間知事、競長門脇府罪で御造

は土英国とし一般の部別 川では社

病苦にあへぐ 一

の、経びがあるので馬山響へ身元組居た、怪無虞は椰牧したがスパイ

敷地は解決

渉中であるが、所有器は何れも期

解決に且下期成實施に馬山府で

寄附分糰まる

馬山中學

中級技規或問題管では馬山府と協ってある。買収の標準は六十七年

更り懸行される京原総道で

離り等があり円力優勝者に 鮮相談、内鮮藝技郷出の手 は見事な質品を贈るはずで

温暖」 若薬館る温暖の温 時別中を逃跡する期間中朝

汽車賃往復五割引

担較合物地一萬四千五百年の所有。 照の査定によって質吹される情報

脳海軍勝校の姿をして居たので上

||窓町季藤櫃で、といひ上海で茶|

高等既脱事が**國極取**調べると馬山 | 待つて、直ちに工事に着手、本年 | 縁発百有餘、有縁斃五十餘分年 ツヂ人が飛船して居るのを水間と が開節方面と援節中で近く解決をでる。あるあり殊に開敷地内には無

木浦』七日午町二時頃上海方面|地上二十六名及有継撃五十有線あ「工作を急ぎつくあるが、所有地上

スパイの疑ひ濃厚

り、これが整地には昭金上木主化」の特志者類出し、無償提供を申出

海導態
皆時の
経調
関帖を
所持して

「耐収合南側に建設し、新製剤と共」してはそれよう手機を要しこれが、明年四月迄に敷地二、五〇〇坪の一完了一貫収済なるも、有終系に對 る。倘治宿舎は証数其他の顧訊上 として徳五丁豊用土地に既に手続 結ぶ期間までには成工の砂定であるり、無線原は先年形然所官司業

學生の情で蘇へる

手當法を教へ樂餌代までも惠む

薫風が傳ふ佳話一つ

でに割ぎつけたい邪質師の過ぬ がいより、具體化し春宮殿立 大郎」昇行を目ざす大邱神仙の

垣弊については俄最の如くであ

奉赞會設立

大邱油社 适營

地元生産品は安くせよ

油類、ゴム、製糸、洋液等か減物、造類、機械類、味噌盛減物、造類、機械類、味噌盛み、リッパ、鹿の子絞りを初め

學ろその期の運ぎを感する位置局として實に切實な計畫で

上質の一切は氏子の労働によるも

金組利下

のできる。 ないでは、ます。 女際のこのない。 女際のこのない。 女際のこのない。 女際のこのない。 女際のでは、 女際のでは、 女際のでは、 女際のでは、 女際のでは、 女際のでは、 女際のでは、 女際のでは、 女際のでは、 女のでは、 ものでは、 ものでも

一部後ひそかに僧垣さんを訪ねて治 除手當法を敬へたり思賞の一部を

|働き手を失った一家は至く脱光級|

上に投げ出されてしまった。これ

で消災の撤安額を加した

に流へた腹南では種類の鹿新徹底|関る高鑑で上水道より約五十六米

及水道・設等に對する調査研究中に対し馬山前に委嘱し敷地の適否

辭任な承認

智より健康

されて語る

仁川府内の各學校

徒の健康を診斷

後任會頭の詮衡は

に対数を入れ者學技を育成、艦側・競技公爵田村博士に委囑、来月兄童の保健に留立し、健康第二國 警院長公爵田村博士に委囑、来月兄童の保健に留立し、健康第二國

れを混躍にして根本順に學校生徒

丁五日までにその結果を取締め

馬山」中型技術設に對して住街

ちかく起工 竣工は今秋

提供すべく折断、校舎健康の準備

十八名に對し買取船に無政

さきに設計せられた複合動物は、

水產加工講習

天理教徒の

水里共同な地域に陸元な地の除草

那人時から午後三時まで、府内栗 の新人的成二百名は合同で十八日午 一個人的成二百名は合同で十八日午 一

か。寄属た申し出を快く受けるこ

したので道ではその意見反映し

全市街道路の四割

一が舗整され全道路の四〇パーセン」から邑内各新聞支局長その他職係 は台部十四萬平方メートルの直路を疑の召集を機とし七日午後四時 大倉町裏通りその他で完成の睫に、警察者では七、八兩月雷四駐在町 街山署配安會 [第山]

釜山の道路舗装

【董山】府が計道中の二ヶ年鑑録、トに達する別合である

いよく十日起工

上で終島内務部長続成の下に開始。重かの金を工面して直立暦だに人。に一艘の光明を見出し大いに繁在 引散きた、上南日間同支事態。 り野込んでしまひ、その後でつと、この頃では次第に使方に向ひ初途

離臍を開いたが、その際上、各理|脱はしたが、治症型がつとかず|

・ 守下金原県合の利下を賦行す を恐れて総一人寄りつくものなく たので道ではその意思成果し するばかりで一方定職では胸の裾 を讃べてある

學上り齊しく金利引下の必要を力」ヶ月はかりで退脱し領來國際忠に一つて簡へられ安藤君の奇特な行為

主な部落六箇所で道水産試験所市

日本加へるものとして一般からそ ほのれも絶対の中野人物百八十級 勢、那水産係木竹南塩手を招助、 かめ、「魚腦山」製造に對し職話 最も漁家の副業に適した「改良わ ですると共に實地指導中で受講生 化版加工調整的な出版中であるか 【釜山】最上著しく精通を告げた。度支那、番港、フィリッピン、上海 | 年度中の動南洋貿易は英国印度の

の結果を期待されてゐる

米作の増産

【釜山】水層の苗代播種類を開近。マトラ、馬來半島、温鶴、肺鹽田、得をかけられてゐる、既に昭和九

網道關係各方面に陣間潜を提出の 品に會長は八日午後六時半出録大

大邱の飛檄に關係地獗起

馬邱線期成會△大勢合流

る陳何書は左の通り

質扱に向つて選載することになっ

本場合層長と担勝へて上城これが

| 大野」既然の如く中央極直開始 化して愈と来る十一日の夜行で門 側から、常枕、五十屋南氏等九名| 臓をひもどいて説明した後、軍事とにたり、別成連動の神容顔に最 新費前氏、耐磨碗がら低田道書、| 寺変して晩報すると挑にあくまで - 島山の生命線として遺域を増するとになり、別成連動の神容顔に最 新費前段、耐磨碗から低田道書、| 寺変して晩報すると挑にあくまで - 島山の生命線として遺域を増するとになり、別成連動の神容顔に最 新費前段、耐磨碗がら低田道書、| 寺変して晩報すると挑にあくまで - 島山の生命線として遺域を増するとになり、別成連動の神容顔に最 新費前段、耐磨碗道別成館の馬山 日硝貫碗に向つて透過する | 古は脚を開するとない。 | 古は脚を増するといて説明した後、軍事とになり、別の加く中央極直開始 化して愈と来る十一日の夜行で門 側から、常枕、五十屋南氏等九名| 踵をひもどいて説明した後、軍事といった。

五軒約七百萬圓是度で終了の豫定

ホル工海に一下萬国を襲したるに

一般を置を置す習

護漢、學級別籍談を行ふ時半から班姉宮を限し授業室

上海方面から木浦に寄港

際田を部配し無弊遠頭と範疇をは一提書品開志田茂辺帰氏である

忠北の農振評定

が数三署石里上町 (観音)今回の慰恵雲部組織の大『豊原状史の静寒館に慰討振典柳察 原動と共に総合選長柳川高田は路」・夏豊原の発売したので十三日午

世紀は金龍署長武子東洲男、晋州一つた **過ぎ上に、同句法主在新興五天氏 登一時から道識論語学で道器寸接** 日出掘の奠定である、なほ爾氏の は近層地流に各々禁禁、來る十三一與委員會を明確し之等部級の結果 いで湯の郷温陽の

十五、六兩日盛大に暴行



Acos A

0 町保神田神京宴

硬動化脈 修疾患

部品藁スルア

體質 *****

77 屬 毒

ネオス・土 - 薬債 ・ ※ 一圓八子菜 ・ ※ 一圓八子菜 100粒 八 圓 100粒 八 圓 100粒 二 十 四 圓 100粒 二 十 四 圓

- つの和 二圓八十錢 小 派 一圓二十五錢 小 派 一圓二十五錢

及店類名有概全 りあに店賃買

100粒 瓶

對南洋貿易振興

釜山商議一行勇躍して出發

視察に大きな期待

ある、飲地質収については、所有「外に降く称三の数数にも聴せのの

とのべたがこれについては一時即一民々の行成に弱め雹から儘、徳か 近は現在の動脈所に吉田氏をもつ 送の動物がこれ日本ともつ れてあた映像に向けられ各學校は 皇帝の健康立即しを行ふ物であることになつた、なほ三百歳 り體育へと所の歌音指針は忘れら まる消費にして積末的に學校生態

開始した、府では第一選手としてこぞつて慰疫衛生の直觸な研究を

協議されることになったが同語的 明き石二枚その他質質問題につき は師能すると意思を関示した。 氏を問題に惟す動説委員になるの て代田氏が韓雄になる際職就委成で派のは間氏の貸め情な、而し 日午後二時から臨時機段都曾を 一部町、姫峴の園小學校二千百四名。ることになつた

自慢の赤ちゃん

一等は府尹の坊ちやん 馬山の優良兄審査

一年末湖切足一等一人、二等二人 脚岸で明かれたが、饗査の結果、 時から各學校長臨船馬山普通學校 制度観光及小供の間は八日午後一 【一年末海】一等字數期兒、二等遊在海、二等自為記于、二等近在海、二等的自說記十二等遊在海、二等於本 信子、四等金差、四等金剛是、四等強聯方遇、五等徐宇朗、五等徐宇朗、五等徐宇朗、五等徐宇郎、五等徐宇郎、五等徐宇郎、五等徐宇郎、五等徐宇郎、五等徐宇郎、五等李一等

「都、第二、江外、江内各面〈劉鋭悠〉」「第三人等外世夏五人入實、寶尉」の樂ある後度初見字野野見さんは「 の計士二人、男四人女八人で一等

日から廿二日まで清州郡美容、 【清州】忠北南生融では来る十一

三年未選功兒一等一人、二等二人

巡回診療班

尚州も發表 入質者五名

に入選した優良倒康的兄僚者は次

小孫與以▲許汪▲李海龍▲耶器

『光同』 整紙者では去る六日年

【備州】愛護週間中の乳児器査管

最新沃度劑ネオス・エーは多 最新沃度劑ネオス・エーは多 を病治療に一日三粒、健康増 での期待が出來る。用量も での期待が出來る。用量も での期待が出來る。用量も での期待が出來る。用量も での期待が出來る。用量も での期待が出來る。 にこそ である。 布。

中部交通階層と複雑し、これがは「八日午登三年所疆さる新聞記を数「紫西郷三職」。豊主地在の状況・地中部交通階層と複雑し、これがは「八日午登三年所疆さる前間記を数「紫西郷三職」。豊主地在の状況・地中部交通階

大邱と提携猛運動

期成會から請願書を提出

*に*か*ら*朗*を*道*鋪

街上不安を生む

層意義あらしめるため昨年度第

はこの事及防止に常に努力を傾 事故も選手増加してある、質局 てゐるが、京歌道ではける十日

在つた人々の継を用ふ作別十時かに本社來費間で交通

い十六日までを交通安全週間と

交通事故の防止と交通道部

良交通從業 者、交通巡

永年勤續優

交通安全週 間實施日程

鎌垣局走線に亘る昭和七年度の底

●数 神 行(船客御街) 五月十七日 神 安 丸 海州常港 五月十七日 名 濱 丸 昨山帝港

大阪商船売出帆

仁川支店回漕部 朝鮮運送株式會祉

東京日無田道 日本野祭 は今ハガキで申込めば順く途 原案内及内容見本と全國試験 日本一の本譜館で學べば合格

高級跳跡用し

列車の事故

前の膨脹、交通機動の複雑化と

街路を11に染む出産な交

交通道德を守れ!

して顕行することになった

交通慰靈祭

道を明朗にせよ! 安全週間の第一日のけふナ日を別街上不安を除け、鎌 東第二回交通祭を贈すことになり

轉車隊宣傳 自動車、自

京城を練る長蛇の宣傳行進

交通安全週間第一日

二回交通祭

高血壓と中気

東京市京橋區銀座西五丁目二番地ノ八號

京城日報東京支社

電話銀座(長)、六大〇六番

THE THE PROPERTY OF THE PROPER 定 倒・大瓶二圓・中瓶一圖・小瓶五十銭・符火四圓 **地東京支社移轉**

佐伯警察部長談

なる効果

のでありまして、宜しく庭其の効果に期待し得よに私共常局害のみの努力

自動車に原因するものが大半

時間では午後四一六時が多い

一八紀五)に諸葛するときは直 行切手の大さ(縦二二尾五、横 横七四尾の輪廓内に描き之を現

尿城師範の

間技で記念式皿に物故を設生走る。年を迎へたので十日午朝十時から

携帯用として高佝優美な

流線型でいっちの

封入の上を鏡切手壹枚御買求めの霧大りデナル小瓶

でいることが

直ちに右容器を無代進呈致します本 舗 安藤井筒堂景品係 宛東市日本橋區水天宮前

御注蓋 |師付のこと 不足示顔は美付なせん 不足示顔は美付なせん

一州日生徳見童の作品既をも能す

京城師的學校では今回削立士

記念式

東越り 十六日二六日十日 四連り 二六日十二日廿日

御愛用者全部

發賣三十週年記念として

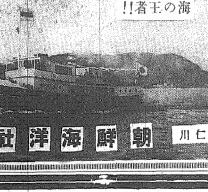
真範的頭痛藥!

こわされ

0000

總計は威客列車の事故、「百廿







カタル・下痢を生起せしむる催たる腸内毒素の吸著解毒作用と アルシリン錠は、脇疾患の原因



とせる糖衣錠なり

不良食餌中毒膓內異常醱酵 急・慢性腸カタル 100錠入 100錠入 100錠入

「成分」銀炭末と摠化銀硅酸を主効分-

朝鲜

みやけにツルチュク音ったが大喜び

會島後平 海 國和連點機

ソバカスにきび取り

章 航路 出 帆。 参小大連漢縣、為雖 多一五月十日 丸。 五月十日 丸。 五月十日

ボークル製にエキビやソバン ボークの身になって見ると

窓 北 大 連 奉 天 橋 岡 静 岡 京 城 東 京 神 戸 名古屋 ステーション本 で か カー ボッシュ・サービス・ 一手吸音が排生・商店日本銀代理店イリス高)會 イリス商會東京市赤阪區溜池町一五 新三届スル御照食の左配(

子に吸著し"これを体内に排除炎性物質を、その極機細なる分

錠

アルシリン錠

36-383(O)

の為に思する用兵器と言葉行政人傷害被告事件に當軍法療協機器甘島田朋二郎干奥器卿を達け判決

明恒二十二年九月九日生

多數技術家招き難工事を征服 けを完了する理定であるが、世界大策では著る工事を行ふことに

に置するに擁ね次ぎの如きもので「能持を希求する重臣、官僚、財閥

州澤中佐の單獨行為

局

校の課題を終へ、同四十三年十二 仰付けられたるが、かねてより傘 を利用し、名を軍の総職に著り、昭月贈車歩兵少尉に任ぜられ、福米 皇の念原さものありしところ、昭 初維新の連動を駆亡するものと見月贈車歩兵少尉に任ぜられ、福米 皇の念原さものありしところ、昭 初維新の連動を駆亡するものと見られたるが、かねてより傘 を利用し、名を軍の総職に著り、昭 ※次陸軍中央効年學校関単士官學 れ、ついで賦年十月十一日集備役 脚局長をもつてその駆動上の地位 月仙台陸軍地方地平學校院上では、すして厨月二十三日符倫仰付けら 航任後、期記問志の菩説等により

等己 被告人は明治三十六年九

に補せられ、末た地位するに至ら 置少將永田臨山の陽草省軍物局長十年八月一日台越歩兵第一職縣附 に至りたるが、開九年三月當時陸 歩兵第四十一瞬候的に、越えて同 を魅行せざらべからずと思惟する る軍刀

口はこれを没収す

被告人を死刑に處す、押收に

力

弊遇だしく、皇國の間途難慮すべ外交など萬城の間進機構何れも思 でものありとし、これが臨活闘新

所謂昭和維新の要ありとなせしも 同志として大規模好、大配祭一、 中所教人事中に騙して最も世際と 【東京歌語】「、相郷中島の永田」」、犯行の厳臣動機は数判の整理|目して政治的新心を包証し、 陸軍省

するは軍紀の破場である

て之れら支配階級の私兵化せしむ

と共に、この配事性の直接版因を なは由つて来れる提慮をたつねる 軍規の緊縮により斯くの如き行為

の総数を期してゐる改第であるが

二、松育總管史集和風に願する策一、維新選斯蘭縣

書道と生活。

大坪氏の講演會

勢力を阻止すると同時に、軍をし

版は公正なる影理の結果に衡すれ を駆けてゐる、而してこれらの語

大家大师将紙氏は、佐賀は直衛長一町の持永器野鷹兵司令官邸に滞在

小學生盟休

縣會議長の言葉に激昂して

あす本社來青閣で

裏近の念を缺ぐのみならず、思想

(同山電話)院山皇赤魯忠原西小叟の可望及び第寺寺林生徒の「第八十名は九日明から同様将校をした。慶応は去る四月二十四日より三日間向村で明鑑された女子歌子院校記載書館の選上で評価景談館書員の終したぞ記続けませ

軍·件 議 會法

れてゐたが、四月二十二日公判を更新し開廷、記事掲載禁止中のミニろ九日午後十一時三 分左の如く陸軍省から殺表された 更新審理五回に及び 日判决言渡 二月二十五日第十回公判終了の翌日二・二六事件の勃發により中止さ |短により銀法賣談において取詞へ| 日上京、選に十九日に至り「樹木」とは、1841年の言葉は関えていて別片の遊頭感染としてみる男子の子の選が選手の言葉は、「おからない。 (日本の情報を握めんと欲し同月十八 | 郭後| 個人の作成にからる整理に | 九月午漢三時頃京城湖路十7里の屋がお)です。 (日本の | 1841年) | 1842年) | 1842年) | 1843年) | 1 陸軍歩兵大尉市中幸式及び陸軍一 分に助せられるに及び、間志の言。ることとし、周日午後三時過時態。元老、東日、除題、新言僚などと

推議し、總監正法の事情をの他としるくや、翌二日前記首中華次、職

| 名を翻りをしなが見、調べると京 ろからみて担害大規模のものらし

く見「取陶"中

たメンバー戦を所辞してゐるとこ。株は護中に男女故ず名の名を記し で開盟してるたことが難つた、

鰹路署員に見破ら

東京電話」相深三郎中佐を裁く第一師團軍法會議は去る一月十八月第一師團軍法會議公判

一これを協脱し、題に開年七月上六

反し取行せられたるものにして、

長等の策動により同大將の意志に

無関告事情の要断と思する文語お

佐がこれを阻止せんとし、被告人

第一万を加へたる際、前示新見大一法事六十二條第二項に、同人を設 日は 本供犯行 に供したるものに

したる類は形法第百九十九條に、 して、被嵌入以外のものに懸せざ

たほ町町の如く水田局長の背部に一器も、出る場合を興へたるは陸電形。 過聞すべく、押収にかくる第万一

の物ぶ行為中、永田少將に對し兵ひ、その所定形中死形を選擇して

五センチ幅利四センチ深さ性に達。現名に帰るるもなるをもつて開送

する削額を資はしめたるものなり 第五十四候第一項則談、第十條に

右第一刀を以って永田局長の資本」て聞人の身直を誘拐したる監は同一一號、第二項によりこれを選収す

の腰部に抱き付かんとしたる際、一新見大佐の上宮たるを認識せずしるをもつて同法第十九條第一項第

るを認識せずに同大佐の左上側部一ある右用兵器、上官墓行表常及びよって主文の如く物法す を斬ると同時に新見大位が上官だ。法第二百四條に各該當するもので、べきものとす 生法の経緯を聞き、かつ同月廿

日午前十一時三十分死亡するに至 刀削による脱蛇により間局長は同い間にか数間の削倒を真はじめ、右

日間の大道不過と脚する所謂任文 **三銭斯大將の見送を以つて永田局**

び作成者經濟者不明の軍職、軍

本質に於てもまた手聞き上に於て

平案が対し思惑せる同大時が教育

几日午後十一時卅分陸軍省發表

利益を逃する恐れありと戦め公開を停止難理し、五月七日刺洪を宣話せり、なは刺洪に則し祖派中二日以来五回に重り公頼を毘越せり、而して戮頼長は旅跡は忠下崩撃と安慰決時を害し、事軍事上二のところ、今次の装む事代に職職し一部鞭士の憲法を忠するに至りたる結果能理を扼折し、四月二のところ、今次の装む事代に職職し一部鞭士の憲法を忠するに至りたる結果能理を扼折し、四月二 は五月八日間田高等軍法館職に上出をなしたり 日午後十一時半時軍省公表―相澤中佐の永田中將殺害事件は、かねて第一師関軍は前職に於て護場 用兵器上官暴行殺人傷害の罪 の記事などにより、右は武田前長一壁、正明蘭軍大臣の韓國は親り零一郎に、皇軍を臺龍するものなりとの武事などにより、右は武田前長一座、五明蘭軍大尉一国省北が局長邦に於て団局長に四 敦を通し、四和維新の憲匣を類称 する好策に外ならずとなし、深く一ば、黄田を感じ酢職せられたしと などが間志勝模などを陥倒せんと、く、軍務局長は大臣の軸佐管なれ、原進し、このまく台前に赴出する

宮城縣仙台市東六番町一番地 十族 **台灣步兵第一騎隊(原所脳)**

從五位勳四等 豫備投陸軍步兵中佐

建任を前に上京す

るに至り、同月十日稲山市を出版して永田周長の在羽を纏めたる上 化に一種の学みを励し、問夜回記 化に一體の製みを懸し、隙び則記。有の第刀を扱き師宅中央の事跡出。刀を加へ腹に隙部に斬りつけたな注意印刷長の頭懸などで繋の鍵。に到り、直ちに帯びゐたる自己所。避けたる際、厭聞長の背部に第二 問局接を殺害せんと決意せんとす 間人および組合 同九時四十五分時間衛星務局長等一長かられに減づき新見大佐の傍に 中將に面轄、劉茂中、給仕を置は一たる水出局長の左側期帯に急遽無

長を題すの一あるのみとし、途に 時向校生徳縣長たりし師局長山間 陸軍歌兵大位新見英大と相関し居

語のまく影響したるところ。

からいろくる説も出たが、當のてはどうかと提賞、二、三の撮影

い、といふとなので、看楽制語長してゐず、曲直が明かになればよ

かつて自己が上世界校在『曹』祖を属て、来あ中の果豆蔵兵隊投

日本の菩聖中林柄竹先生に翻事り語に志し早大に飛びし後は後、捜査中が許氏は肥削小城藩士、幼少よ「帰家を」

時家を出たまく行方不明、各番で

新堂町に又も

勝城ですることとなった、入場無、服物さん(ことは会男本生活で)を確で「悪道と生活」の概下に数遣、京城文化村「七個英部氏の淑女様

問した六名の委員は、九日朝

により歴井步兵第七十七縁隊長(日(月)午後七年中から本郎来等土場道話)熊崩、臨時所贈の決、中だが、今川本祀の親を容れ十

日(月)午後七時年から本地来商

妻女の家出

丁供をつれて

子母(牙町田田県領より人)

帝國 院主 中 中 科

島 病

貞 信院

電話本局三七八番

組党学隊する等その人格を類に領するを領域し苦めて共の深郷桃の徒が密を以て小技未

档葉氏が斡旋して

平壤歐打事件解決

の際自己の取るべき遊は水田局

己の企園するが如き消勢に變化な せた大部型一と質読したる末、自 軍刀にて突刺し

方を立田で、間日九時三十分印隆 東部にて栗刺し即に回局長が継ば。センチおよび長さ六センチ、 | 設置の決意を励め型十一日朝西田 で遊げたるを組織し、その背部を | 背部に長され、五センテ、陸さー きことを知り、窓に愈よ水田局投。次いで問局長の隣常に通ずる群ま|原部に到りつけ、因つて耐局長の 脱血で死亡せしむ

迷ひ子

九日田舎から死城したが九日午後 五中脳鼓さんの頻季相主者(ダ)は



ではその類別に萬金を期してゐる。預金の階級はその預金製約が解放 原吸新位町に少し削突が混るべき。てあるとて仮告の敗訴となったた

那なに発展しとなったので再び された時から計算さるべきもので 新原氏軍五郎下飯坂数刊長係5

依然として第一銀行脚派となった 新末を楽却す!との朝みがあり、

錦畵伯が個展 けふから三越で

強、井手、高灣・開治の浙丘館記司、高井朝鮮雄物は長、小川回線 錦衣一郎勘伯の入城を迎へ宮林を 白型問員として脚西洋海界の重観

建ひ子南党町九二郎李淵氏 に出たまし迷見東大門器で担査中 けふの天気

であつて、之に對し壁軍としては一つて、世人もまたこの難に疑惑を 等の基础を信じ、全く我員の償還かに出來るだけ處置を翻するの野語りに削減の嘗試及び所謂性文書。な了後文書の取締については選 以てゐた向もあるが、歌理の結果 犯者があるのを受迪とするのであ 暖者を認むべき者はなかつたので は相解中佐戦場の行為であつて教

その事置は属に所提に増へない所

土が怪文世等に変せられる所とな

即方当古(ことが三日成病し九日午) 大元、この防災陣を突破して小き

泉城區裏町九六の二洪鶴的万生徒|で同鵬伯の京城後接触が組織され 控訴院の判决

氏の闘子蔵北明川郷上加西石幌祠 三八八季度財氏が第一銀行を担

上價遷勸業價券支排開始廣告

第四十四 追而本憤歩ニ付ラハ繰上償還期日以後ハ利子ハ御支拂不致候 郵便局ニ於テ至急元利割增金御受領被下度候ロリ全額支拂開始可致候ニ付當行本支店各地代 |同勸業債券へ本月一日繰上償還抽籤ヲアシ來ル

三等割増金附當籤番號へ左記ノ通リニ候

!て分三タッタ

花柳病專門

્રે

*****;* 京日系内

告に限り特に壹囲にて掲載す題が中の数では、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本の

社會式株スーソンキチ 京東

本町四丁自四八〇都 齒 科

恩

四部所。哈、爾、齊、南、周、泉、南、四、三部市。京城、府、岡崎町九〇寺間・宮湖龍山(十)三記帝京城、府南市南大門、附日韓とい・市武木局(2)三巻帝京城、府東京、南、南、南、南、南、南、南、南、南、南、南

は京城岩宮町百拾八特許公朝無料限度と

際發 齒 混酸科 明 姓名 本趾仁川支配

ド田有

政府制度の日本 が高方治滅明 が高方治滅明 が高方治滅明 が高方治滅明 が高方治滅明 が高方治滅明 が記しある

华迪森

され売らかく効く効らかい良

合って管は大物を最も相合のでは、一個では大物を表する。 給

念恩

脂肪縣 別八円 特四円 **新森州街町** 元山平町五 作。本 自由在前外 例針一手版窗 京城地町三丁目地 湯町 (電本二十九七番) 吉田松北紫代理店 山本浦小堂

畫

勝御請求被下度候 四等割増金モ多敷添附致居候ニ付舎支拂店ニ債券御提示ノ上支

四、第五十五回ノ四回別ニ族近八縣上債遺小祭・右ノ外第四十一回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二回、第四十二年五月

一流争弱血

序盤の苦心!

四事が起つたのか誰かに帯ねて | 家の愛子とは許嫁の間柄になつて | えるやらな思ひで後の営業を待つ

い鍵の立つてゐる嵐の飛に・しり

ホッとして鉄はれたやらな魅ひで、滑つて來るのが見えた。 腫子は

非常に滑稽な姿も、脂子に取つ

氷の上に手をつき、交響

はいと思つて雕子は陸橋の方へ向

する味を狙つて敵の情勢を調下君の四八盤は飛光きの歩を

金 易二郎

◆版告に就てのお話を数

前十一時十分

察此は畿中州能高部にあつて標高 二〇米の高地、三千米以上 霧社の今昔

はや日祭しのいつしかも、春見

御舎合の席上に御舎機の接待に

一、一、活用の時



十一日き、物

同八時(東)常警律

しをしたとあつては飲つてゐられ

九州郵船株式會社

る許線と云ふ変情以上の心持を許

十日の番組

放送 瞪 Ħ

オー族本社化番

一同一〇時

湖幕の石を叩きなから順

大なみかなみに伝せて 郷本州を序べて 曲は収極(栗)と大戦を祀って

前人未踏の湖に

(ロ) 収穫の樂み

栗はみのつた 脳はきらく

ら唄ふ杵駅で、杵の音が副面に

打捕って収配に いそしむ

台灣だより

蕃山の夕

逞まし 腸の機

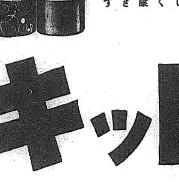
れた含有成分が、胃

り機刺















どなた を呈し を有し

カルシ し、ヴィ

















房

株式電社 木 飲めば樂になる

村

槧

一下面

起更 昭和治安年二四月武治参日登記

編金化出張所 新臺華門 就給名日登記